

2019 御在所ロープウェイ安全報告書



新ゴンドラ（ルミエール）
2018 年 7 月 11 日運行開始

ごあいさつ

御在所ロープウェイは、平成 31 年 4 月 29 日に開通 60 周年を迎えました。これもひとえに、今日までご利用いただいた多くのお客さま、そして日頃よりご理解とご協力をいただいている関係者の皆さまのお蔭であると心より感謝申し上げます。

新元号である令和の時代も、「安全・安心の確立」が弊社事業の根幹であることに変わりはありません。四季が織りなす御在所岳の自然と景色に多くのお客さまが感動していただけるよう全社員で安全輸送とサービスの向上に取り組んでまいります。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、前年度に実施した弊社における輸送の安全確保のための取り組みや経緯、実態をまとめ公表するものであります。今後の更なる安全輸送の向上に役立てるため、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。

御在所ロープウェイ株式会社

代表取締役社長 別 府 通 孝

—目次—

1 基本方針と重点目標

- (1) 基本方針
- (2) 重点目標

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

- (1) 索道運転事故
- (2) 輸送障害
- (3) インシデント(事故の兆候)

3 輸送の安全確保のための取組み

- (1) 教育訓練
- (2) 安全のための投資等

4 当社の安全管理体制

- (1) 安全管理組織と役割

5 お客様からの意見と事業者としての対応

6 安全報告書に関する問い合わせ先

1 基本方針と重点目標

(1) 基本方針

当社は「安全基本方針」をつぎのように掲げ、安全が最優先課題であることを社長以下従業員に周知・徹底しております。

- 安全の確保は輸送の生命である
- 規定の遵守は安全の基礎である
- 執務の厳正は安全の要件である

(2) 重点目標

2018年度の重点目標は次の通りです。

区分	項目	内容
定量的な目標	設備等による事故	索道設備の保守点検、検査を継続させ、故障を未然に防ぐ。また、索道設備更新を計画実施することで、経年使用で発生する故障、事故を防ぐ。
	人身障害事故	操作時、出入庫時の指差呼称を徹底し、ヒューマンエラーにより発生する事故、ヒヤリハットを防ぐ。

2 事故等の発生状況とその再発防止措置

(1) 索道運転事故

2018年度において特殊索道(山上リフト)にて索道人身障害事故が1件発生しました。

(2) 輸送障害

※全日運休・・・強風等の荒天による終日運休(定期工事:2018年6月1日から7月10日、予備原動機更新工事:2018年12月6日～12月16日を除く)

※時間運転・・・強風等の荒天による毎時0分・30分の定時運転(通常時は約1分間隔の連続運転)

普通索道(ロープウェイ)

2018年度		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
遅延開始・早期終了 時間運転	日数	13	9	12	23	57
全日運休	日数	1	7	2	7	17

特殊索道(山上リフト)

2018年度		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計
遅延開始・早期終了	日数	14	7	19	15	55
全日運休	日数	3	13	4	6	26

(3) インシデント(事故の兆候)

2018年度において特殊索道(山上リフト)にてインシデントが1件発生しました。

3 輸送の安全確保のための取組み

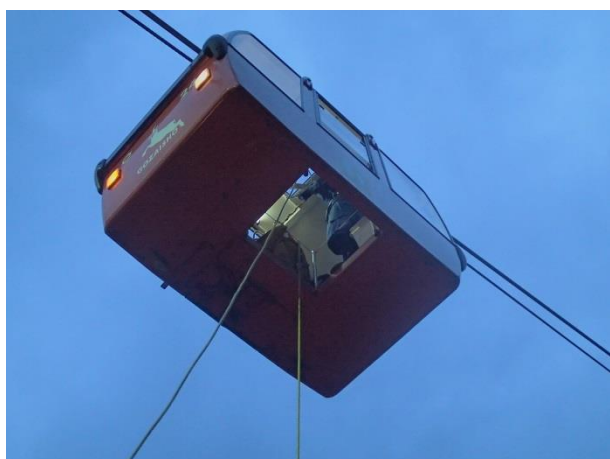
(1) 教育・訓練

① 安全教育と人材育成

当社では、安全輸送の確保に万全を期すため、安全教育を実施し、安全を最優先に考える人材の育成に努めています。新入社員の研修は各職場を研修することで、ロープウェイの仕組みを教育します。また今年度より救助作業の項目を、新入社員研修会カリキュラムに取り入れ、有事の際の対応について教育しています。毎日の朝礼では保安情報や当日の線路状況等を全員で共有し、天候の変化に早期対応できるよう取り組んでいます。社外研修会では、索道技術管理者研修会(中部運輸局)、普通索道委員会、特殊索道委員会(中部鋼索交通協会)、テクニカルセミナー(日本ケーブル)などの社外講習会、研修会にも積極的に参加し、社員教育、安全管理に取り組んでいます。

② 各種訓練の実施

東海地方は、南海トラフを震源とする巨大地震による被害が予想されています。それに対応すべく、救助道の確認、夜間訓練など、実際に発生した事を想定して実施しています。また、主原動機が故障等により運転不能になった場合を想定して、予備原動機で線路上の搬器を収容する訓練も12ヶ月検査項目に取り入れています。



(4月救助道訓練)



(5月降下訓練)



(12月降下訓練)



(12月降下訓練)

(2) 安全のための投資等

2018年度; 定期工事(6月1日～7月10日)予備原動機更新工事(12月6日～16日)

2018年度に 実施した点検整備 安全対策	普通索道	第1減速機更新(6月)日本ケーブル 搬器10輛更新(7月)日本ケーブル・CWA(スイス) 搬器26輛改装(2017年5月～2018年4月終了)三重交通 予備原動機更新(12月)日本ケーブル 索道設備12ヶ月月検査
	特殊索道 (山上リフト)	各支柱索受装置点検、分解整備 索輪取替、各種オイル類交換 索道設備12ヶ月検査

(搬器改装)

○平成元年に導入され、およそ30年間使用された搬器は平成29年3月31日から、三重交通津整備工場にて改装が始まりました。初めて着手した26号搬器についてはお互い手探りの中の施行であったが、工程ごとに打合せをすることで、作業環境、信頼関係を構築して進めました。同年5月17日に納車された26号搬器は、平成元年にスイスより導入された時と同等の輝きと感動がありました。その後も、三重交通津整備工場の確かな技術によって進められ、平成30年4月13日に最後の25号が無事納車され改装工事が完了しました。



(初めて改装された26号搬器)



(三重交通にて完成検査)

（搬器更新；ルミエール号導入）

平成30年の大規模リニューアルの目玉として、搬器更新(10台)が実施されました。一番の特徴としては、眼下に広がる御在所岳の四季が楽しめるように、ガラスフロアを採用したことにあります。ただ、停留場内の構造を変えることができないので、既存搬器に近い形を採用することになりましたが、既存搬器の設計が30年前で、現在の量産型とは形も違う事や、メーカー（CWA社）がスイスとリアルタイムの打合せや確認が出来ないなど、製作には、多くの問題が発生しました。

スイスよりやってきた新ゴンドラ「ルミエール（フランス語で光を意味します）」は、ガラス面を大きくした360度のパノラマビューに加え、ガラスフロアから新たな御在所岳の魅力が楽しめます。



（イメージパース外観）



（イメージパース内装）



（日本ケーブルにて）



（御在所ロープウェイに搬入）

(第1減速機更新)



(予備原動機更新)

停電や制御回路の故障等により、主原動機が再起動できなくなったときの備えに予備原動機があります。更新前の予備原動機は、老朽化に加え旧式のエンジンの為、部品調達が困難になってきましたので、この度、装置を更新しました。以前の方式はエンジンから直接駆動する方式でしたが、今更新ではエンジンで油圧ポンプを駆動しその発生油圧で油圧モーターを作動させる方式に変更しました。以前の方式に比べ、切り替え時間の短縮や、操作位置を運転室に持ってくる事で操作性、安全性が向上され、緊急時に於いても正常かつ安全に輸送出来るように備えました。

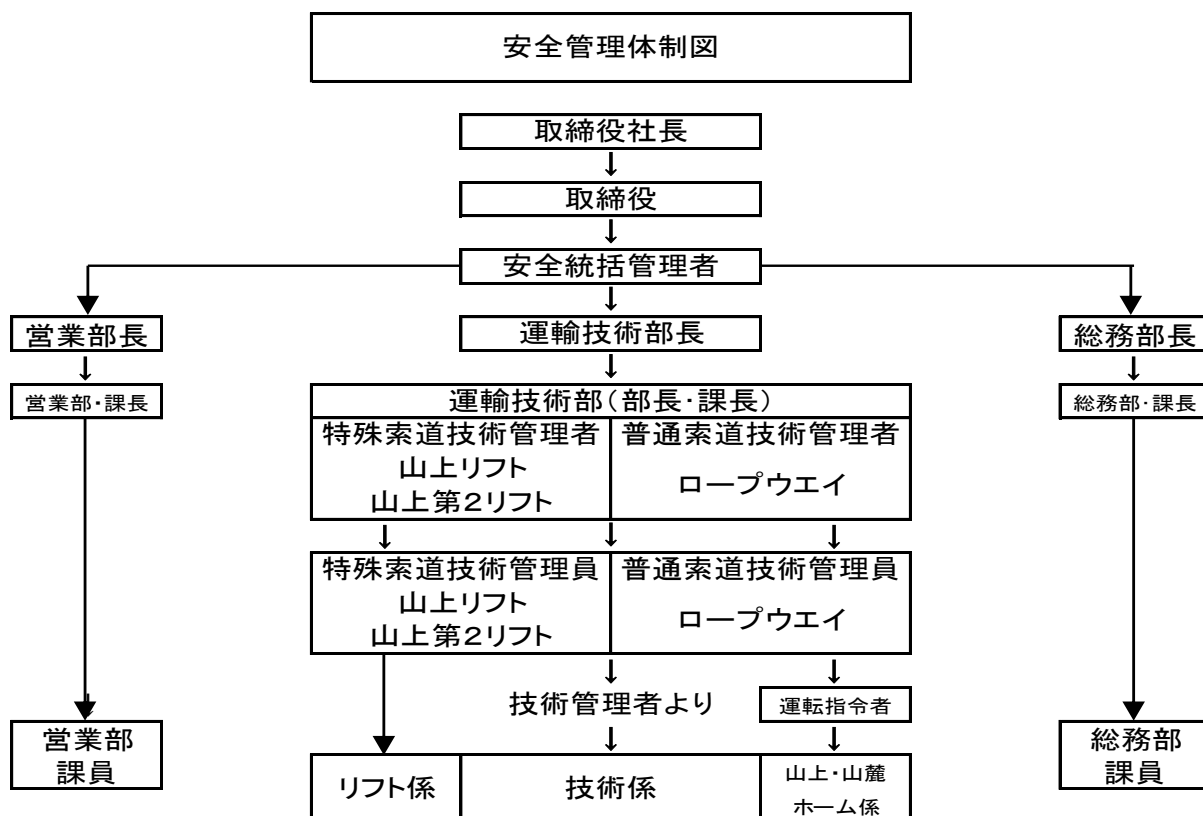


4 当社の安全管理体制

(1) 安全管理組織と役割

社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の役割と責任を明確にしています。

社長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括管理する
技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道全般の管理、索道施設の保守管理を行う
技術管理員	技術管理者の指揮の下、索道全般の管理、索道施設の保守管理を行う
総務部長	輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する業務を統括する
営業部長	旅客及び物品運送規則に関する業務を統括する



6 安全報告書に関する問い合わせ先

〒510-1233

三重県三重郡菰野町大字菰野8625 番地

御在所ロープウェイ株式会社

TEL: 059-392-2261

FAX: 059-392-2526